

科目分類	専門職の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
13091	3	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	公衆栄養学 I (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント) (Public Health Nutrition I)				
担当教員名	梶 忍				
授業の概要及び到達目標					
<p>○概要</p> <p>地域の健康・栄養施策の計画策定の基礎知識、PP モデルなど基本概念を学修する。地域や職域等における保健・医療・福祉・介護システムの栄養関連サービスに関するプログラムの総合的な作成・実施・評価を含む「公衆栄養マネジメント」の理解を深める。また、地域栄養の現状把握と課題解決のための「社会資源の活用」「食環境づくり」などを予防医学的な視点から学修する。</p> <p>○到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進と疾病予防を目指す公衆栄養活動を理解する。 公衆栄養活動を取り巻く社会環境、法律・制度について説明できる。 日本における疾病構造の変化と栄養との関連を的確に捉え、説明できる。 日本における栄養問題を的確に捉え、説明できる。 日本における健康施策や法律制度の歴史的経緯、社会的背景、意義、内容を説明できる。 地域における健康づくり活動と生活習慣病予防対策を説明できる。 特定健診・特定保健指導制度策定の背景、目的、内容について説明できる。 国民健康・栄養調査の目的、方法、法的位置づけ、調査の組織体制について説明できる。 健康づくり施策を担当する行政、関連する組織の役割や連携について説明できる。 地域の食環境づくりの概念を理解する。 食料需給の現状について理解し、説明できる。 食環境づくりにより期待される地域の食生活改善への効果（可能性）について説明できる。 公衆栄養マネジメント（地域の健康・栄養施策の計画立案、実践、評価、フィードバック）について説明できる 地域の健康・栄養活動における情報管理・個人情報保護・倫理的な配慮について説明できる。 地域における健康・栄養関連の計画策定の必要性和作成手法の基本（例えば、プリシード・プロシードモデルの活用など）を説明できる。 					
準備学習等					
<p>各回講義テーマの教科書の該当部分については授業前に読んでおくこと。</p> <p>○毎回の課題として、本シラバスの授業計画の中に（ ）で示した語句について調べ、規定の形式の事前・事後学習ノートにまとめ、理解しておくこと。</p> <p>（それ以外のテーマ内容でも事前・事後学習として、ノートにまとめ自主学習すること）</p>					

成績評価の方法	○授業態度評価（15%）、ミニテスト（15%）、期末試験（50%）、事前・事後学習用課題ノートの評価（20%）上記を目安として総合的に評価します。 ○事前・事後学習は課題ノートをみて評価いたします。 授業終了後毎回提出すること。（ノートには年表作成も含めます。）
テキスト	○「公衆栄養学」第6版 古野純典・吉池信男・林宏一（編）（南江堂） ○「公衆栄養学2019年度版」編 酒井 徹・由田克士編（医歯薬出版）
参考図書	○「新版 公衆栄養学実習ワークブック」 徳留裕子・東あかね（編）（株）みらい ○「カレント公衆栄養学」 由田克士・押野榮司編（建帛社） ○ 日本人の食事摂取基準 2015年版（第一出版）
備考	○本科目の受講は、「栄養教育論」で学ぶ栄養調査方法について、また、「公衆衛生学」で学ぶ疫学概念について、理解していることが前提です。 ○オフィスアワーは desknet' s の一覧を確認すること。 ○授業終了時にふりかえりのテストを実施します。その内容はテスト後、授業内で説明いたします。 ○15回の授業の中で、2回のミニテストを実施します。 ○本科の単位取得は、「臨地実習Ⅰ・Ⅱ」の履修条件である。 ○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。
授 業 計 画	
<p>第1回：「公衆栄養学」の概念</p> <p>第2回：健康・栄養問題の現状と課題 ①（少子高齢化）</p> <p>第3回：健康・栄養問題の現状と課題 ②（健康寿命・地域包括ケア体制）</p> <p>第4回：健康づくり施策と公衆栄養活動①（健康増進法）</p> <p>第5回：健康づくり施策と公衆栄養活動②（栄養士法・行政栄養士業務指針）</p> <p>第6回：健康づくり施策と公衆栄養活動③（健康日本21）</p> <p>第7回：健康づくり施策と公衆栄養活動④（特定健康診査・特定保健指導）</p> <p>第8回：健康づくり施策と公衆栄養活動⑤（フードバランスシート）</p> <p>第9回：健康づくり施策と公衆栄養活動⑥（食生活指針）</p> <p>第10回：公衆栄養マネジメント（集団の評価）</p> <p>第11回：公衆栄養アセスメントと既存資料（PPモデル）</p> <p>第12回：公衆栄養プログラムの目標設定（優先課題・地域目標）</p> <p>第13回：公衆栄養プログラムの計画・実施（資源について）</p> <p>第14回：公衆栄養プログラムの評価（評価の種類）</p> <p>第15回：栄養疫学（エネルギー調整 残差法など）</p>	